



2020年6月

第300号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 並木 信一
副会長 花輪 宗命・久保田貞視
書記 多河敏子・長谷川あや子
会計 小口 多津子
直前会長 久保田貞視
担当主事 中里 敦
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 重子・多河 敏子

国際会長 Jennifer Jones (オーストラリア) 主題 Building today for a better tomorrow スローガン On the MOVE!! 「さあ動こう!!」
アジア太平洋地域会長 田中博之 (東京多摩みなみ) 主題 Action 「アクション」
スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」
東日本区理事 山田敏明 (十勝) 主題: 勇気ある変革、愛ある行動!
副題: みんなで力を合わせて、1・2・3
あずさ部部長 赤羽美栄子 (松本) 主題: あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために!
クラブ会長 並木信一 主題: 誰かに、何かに、必要とされたい!

6月例会プログラム

新型コロナウイルスの影響で会場変更

日時: 2020年6月20日(土)1

会場: cafe 海の塔 八王子市元八王子)

担当 A 班(長谷川、小口、中里、並木真、菅野、眞野)



茂木 稔

昨年の秋、ヴィレッジ正面ロータリーの前に新しい花壇をワイズの皆で掘り、クロッカス、水仙、チューリップなどの球根を沢山植えたものが3月には沢山咲きました。しかし、4月になり都の施設であるヴィレッジはコロナ対策上閉鎖となり、人々の姿が見られなくなりました。

3月の花の咲いている頃に私はこれらを見に訪れてから、1か月以上の間行っておらず、雑草が気鬱りとなり、この5月の14日に出掛けてみました。ロータリーの花は終わっていましたが、確かめたところ球根が掘り起こされて土の上に露出しています。

ヴィレッジの方と話したところ、先日奥のキャンプ場に猪が入らないように柵を巡らせたと言います。それで猪が夜も明かりが灯るロータリーまでも進出したものと思えます。

しかし、入館してすぐに見える南側のワイズガーデンではジャーマンアイリスの黄色と紫の花が咲き揃っており、昨秋早くに植えた石竹の花が色々な花色で咲き誇っていました。また、千鳥草も50cm位の高さに伸びており、一部では花が咲き出

先月の例会ポイント (5月)

例会中止		BF ポイント
在籍	16名	切手 (国内・海外)
0g		
		年間累計
560g		
		現金
0円		
		累計
0円		

今月の聖句(2020年6月)

その時、弟子たちがイエスのところに来て、「天の国では、一体だれが一番偉いのでしょうか」と言った。そこで、イエスは一人の子どもを呼び寄せ、彼らの真ん中に立たせて、言われた。「よく言うておく。心を入れ替えて子どものようにならなければ、決して天の国に入ることはできない。だから、この子どものように、自分を低くする者が、天の国で一番偉いのだ。また、私の名のためにこのような子どもの一人を受け入れる者は、私を受け入れるのである。」

新約聖書マタイによる福音書

しています。

その下にはグラジオラスの芽が20cm程出ており、6月には黄色、赤色、紫などの花が皆を楽しませてくれるでしょう。

問題は雑草です。チューリップ等を植えた時にもかかなりの肥料を遣ってあるので、雑草が勢いよく大きく伸びており、これには大弱りです。梅雨も近くなり早めに取り除かないと雑草に花が埋もれてしまいます。

皆で早急に暑い日を避けて何とか涼しそうな日を決めて雑草取りを実施の予定です。

その折には多数のメンバーの方々の参加を是非にお願いしたいものです。



わくわくにて ジャーマンアイリス

ドラマの「路(ルウ)」・台湾エクスプレスに寄せて

小口多津子

5/16、NHK総合のドラマ「路」を見ました。日本から導入された新幹線の車体が今、台北から西海岸に沿って高雄(左営)までを1時間30分で走っています。2007年に開通されました。その開通するまでのお話を主に、現地台湾での撮影、日台の俳優でつづったドラマでした。これは、原作が吉田修一で、この高速鉄道の建設に携わった日本の商社マンの中、唯一の日本人商社ウーマンと台湾青年との恋物語が中心でした。

私は、日本とフランス・ドイツによる欧州連合の商社間のプロジェクトの辛辣な勝ち取り合戦などの展開を期待していたのですが、物語の中ではその経緯は少し曖昧でした。どうして、日本が競合に勝ったのかは、一言、日本は地震に強い国、というセリフがありました。

私は、その開通2年後にあたる2009年2月に、東京八王子クラブと台湾のワイズメンズクラブ高雄港クラブがIBCという兄弟クラブを結ぶことになった締結式に、クラブメンバー7名で高雄へ行きました。その時、この開通したばかりの高速鉄道に台北から乗り、終点高雄(佐営駅)まで行きました。全く日本の新幹線そのまま、日本語の表示がまだ車内に残っていました。

終点の佐営駅で始めて出会ったIBCのメンバーの皆さんの歓迎ぶりは本当に嬉しかったです。あれから10年も経っていますが忘れる事はできません。毎日、観光や美味しい食事で歓迎されました。

その高雄港クラブのメンバーの中には流暢な日本語でお話をされる老婦人の方が多いいました。第二次世界大戦終戦の時までは、日本の統治下にあつて、日本の文化、教育を受けていた方々でした。そして私自身がそうであったように台湾で生まれて、父が仕事をしていて終戦まで過ごし、引き揚げてきた日本人。そのような日本人を台湾では湾生と呼ぶようですが、このドラマにも登場しました。

一組の夫婦ですが、台湾で中学校に通っていた時に、ひとりの友人への小さな言動がわだかまりになったまま、修復することなく終戦で日本に帰ってきてしまい、そのことが心苦しさとなったまま今を生きている、という内容でした。その老人が思い切って台湾を再訪し、お互いに年老いたその中学校時代の友人と再会を喜び、詫びて思いを晴らしました。

その時のその台湾の友人の口から出た、一つのセリフがまるで私に言われたようで、強く心に残りました。それは、「君は台湾へは戻ってきたのではなく、訪問に来たのです」。

(2009年の高雄訪問メンバーは・久保田夫妻、山本さん、長谷川さん、有海さん、吉原さん、小口の7名でした)、

あずさ部評議会の報告

長谷川 あや子

第3回評議会議案は新型コロナ拡散防止のため書面表決となりました。

第1号議案 2020-2021年度部長活動方針承認の件

第2号議案 2020-2021年度予算(案)承認の件

第3号議案 2020-2021年度あずさ部部大会承認の件

第4号議案 2020-2021年度あずさ部評議会承認の件

第5号議案 次期の次々期部長推薦の一周期間免除承認の件
すべての議案について可決されました。

付記 第5号議案の承認により 2021-2022年度以降の部長輩出クラブは下記の通りです。

2021-2022 東京八王子

2022-2023 富士五湖

2023-2024 長野

2024-2025 甲府

2025-2026 東京西

2026-2027 東京武蔵野多摩

2027-2028 松本

2028-2029 東京サンライズ

2029-2030 甲府21

2030-2031 東京八王子

2031-2032 東京たんぽぽYサービス

2032-2033 富士五湖

高尾わくわくヴィレッジ便り

館長 菅野 牧夫

わくわくビレッジは新型コロナウイルス感染防止のため4/3(金)より休館となっておりますが、東京都の対策緩和を受けて5/27(水)を持ちまして休館を解く決断をいたしました。5/28(木)オープン初日にはワイズの皆さんに花壇の整備もしていただき、再オープンにふさわしくきれいになった花たちが来館者を迎えてくれました。ありがとうございました。

5月は開館して4日間オープンしましたが宿泊者数は12名、ここ何年間では5月の宿泊者数は3,000人を超えていましたので大きな減員となっています。日帰り施設利用も450名強と通常の7%位に落ちてしまいました。6月以降の予約状況を見ても新型コロナウイルスの影響は深刻で、9月までの宿泊予約者数に大きな影を落としています。通常は6月、9月は学校の利用、7月は幼稚園や保育園のお泊り会、8月は子ども会やクラブ合宿などの予約が入ってにぎわっていますが、毎日のようにキャンセルの連絡が入っています。日常の業務に早く戻ることを祈っています。

開館に向けて感染防止対策として、運用方法が何点か変更になりました。館内に入るためにマスク着用のお願いと手指の消毒のお願いをしています。また事前に検温をしてもらって、熱が高い場合には施設に入ることをご遠慮していただいています。それぞれの施設にも定員を持たせソーシャルディスタンスを保てるように配慮いたしました。受付にはシールドを設置し物々しい雰囲気になってます。いろいろな事で利用者の皆さんにご不便をおかけしますが、スタッフ一同笑顔で対応してまいりますので、ご来館の際はご協力お願いいたします。

西東京センター便り

西東京主任主事 中里 敦

先日、八王子ワイズ、多摩みなみワイズ、西ワイズより「つながりマスク」を70枚いただきました。『#はなれていてもつながっている』キャンペーンが行われている中で、マスクを通してワイズと子どもたちがつながっていることを感じました。YMCAだけでなく学校でもマスクが必要で、「いくつかあると助かります」と保護者の方から感謝の言葉もいただきました。改めて心よりお礼を申し上げます。

さて、緊急事態宣言が解除され、東京YMCAではこれまで自粛していたプログラムを6月より開始し、プールや定例野外活動などが始まりました。6月からの実施に向けて各事業のガイドラインを作成し、各センターでは、ガイドラインに則した備品(アルコール消毒、非接触型体温計など)を揃えたり、3密にならないような対応策を考えたりと、5月の後半から急ぎ準備に慌しくなりました。来館者、参加者にも検温などをお願いするなど、お互いに感染予防策を取るようになっています。日常が少しずつ取り戻されていく喜びを感じながらも、自身が感染しないのか、引続き目に見えないウイルスの予防対策、この先終息に向かうのか、広がっていくのか、見えないものに向かっていく不安やストレスも感じます。しかし、待ちかねたように子どもたちが来館する姿は、YMCAが来たい居場所になっていてくれることに喜びも感じ、心が和みます。

外出自粛養成中は、様々な制限がありストレスや不安を抱えたことと思います。しかし、その様な状況を受け止め対応してきた中では得たものもあったのではないかと感じています。マイナス面だけでなく、プラスになったことも受け止めながら、一人ひとりと向き合っていきたいと思っています。

今月の聖句によせて (2020年6月)

「それほど混んではない電車でした。二俣川について降りようと、ドアの方へ向いた白い杖のわたしに、つと立ってきでドアからホームへ手をかしてくれた方がありました。ホームに降り、礼をいって歩きはじめたとき、その方が連れていたらしい女の子のあどけない声がきこえました。“あの、お父さんのお友達?”。その方は答えました“そう、お友達だよ”と。

笛が鳴り、扉がしまって、線路のひびきは遠く消えたけれど、・・・友だち、・・・友だち。見知らない方のあのひとことは、わたしの心を温めてくれる、本当にうれしいひとことでした。」

ある冊子で、わたしの尊敬する先生が紹介しておられた、心洗われるような、さわやかで美しい物語です。

幼い女の子の、“・・・お友達?”という無邪気な問いに、さりげなく、“そう、お友達だよ”と答える、さわやかな父親の姿に、「白い杖のわたし」は、限りなくあたたかい、人の心を見たに違いありません。このような父親のもとで育まれるこの女の子は、日常の様々な生活のなかでも、素晴らしい人の心を、自分の力で発見していくことのできる感性が、どんなにか美しく育まれることでしょう。

並木 信一 (保育園の園だよりによって寄稿したものです)

中大ひつじぐも便り

水田 晃平

初めまして、ひつじぐもに所属している水田晃平です。中大便りを書くのは初めてになります。この度は八王子ワイズメンズクラブの月刊誌に文章を書かさせていただくことを大変嬉しく思います。

現在、緊急事態宣言が出された4月の初旬から1ヶ月半ほど過ぎ、一時よりだいぶ収束の目処が立ってきたかのように思えますが、依然として予断を許さない状況が続いております。この期間、世界全体で社会活動が停滞する中でポストコロナに向けて様々な生活様式の模索が始まったように感じます。日本で言えば、リモートワークの推進、9月入学などです。特に9月入学などは今年(あるかは分からないですが…)受験を控えている高校3年生や中学3年生は一層不安だと思います。政府や文科省はできるだけ早く今後の指針などを示して欲しいです。

報 告

閑話休題

山本英次

昨日、日野市健康福祉課より「特別定額(低額!)給付金」の申し込み書類が着きました。

本日は、土曜日ですが早々に記載した書面をポストイン! 10万円を辞退する? トンデモナイ! 自粛生活のストレスを発散するには少額ですが、遠慮なくいただいております。

トピックスとして、

5月の中旬にメルカリを通して、電動麻雀卓(時価60万円~80万円)を売却しました。

孫が手続きをして購入者と直接交渉をした結果、10万円で購入が付きまして。メルカリへの手数料を購入者が支払う約束で、85,000円の実入りとなりました。我が家にとっては、いち早い「特別低額給付金」の恩恵にあずかった訳であります。

6月になり、これまでの自粛生活から一変して、日常の生活が戻ってまいりました。

7時半起床はこれまでと同じですが、8時の朝食後、近くの勝毛農場へ朝採りのトマト、キュウリ、ダイコン、玉ねぎの買い出しに行きます。30名~40名が等間隔で並び、順番に売店へ向かいます。三密を避けているわけですね。約30分~40分の行列を我慢します。

長男家族と同居しており、娘家族も近くに住んでおりますので、2家族分の野菜を購入します。それぞれに配達後、トム・

スポーツクラブへ出勤します。4月8日に休館して6月2日に再開したので、約2ヶ月間をお休みしたことになります。脊椎管狭窄症のリハビリに最適だった「水中ウオーキング」が出来なくなったので、その間の腰と脚の痛みが再発して、ロキソニンテープと飲み薬リカに頼っても痛みが強くて、5分間と歩けません。

自宅から駅まで5~6分なのですが、途中で携帯用の折り畳みイスに座って休みを取る有様でした。

6月の再開から毎日のリハビリ生活で回復を急いでおります。水中ウオーキング約60分、ジャグジー15分、水深の浅いプールで負荷をかけながら歩行を15分、その後の風呂タイム30分で都合2時間のスポーツジムが終わります。

昼食の「丸亀うどん」を採るために「多摩平の森 イオンモール」へと馳せ参じるわけです。「イオンモール」も同様2ヶ月を休業していたので、その間のランチに大弱りでありました。

イオンモールは、年寄りにやさしく、休憩所が多くてゆったりとして、何時間いても許されるし、冷暖房が程よく効いているので、ゆっくりと昼寝が楽しめる。

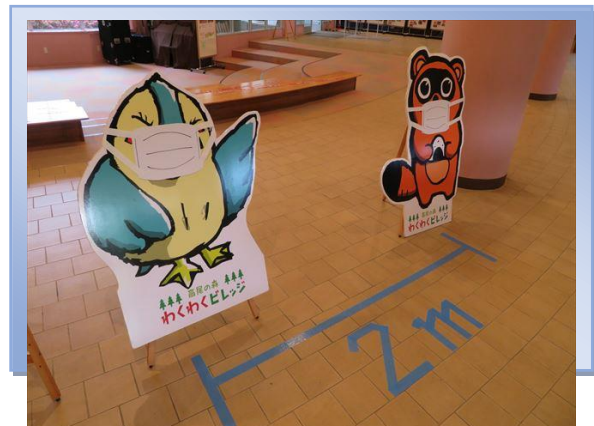
午後3時から6時までの3時間をコーヒーを飲みながらの読書タイムでもある。

図書館も休み前に10冊を借り入れたが、間に合わず、文庫本ばかりを週2冊の計算で20冊ほどを購入したが、孫のメルカリに大いに貢献した。

その中でも、朝日新聞社刊行本で「ゴーン・ショック」がお薦め本であります。

日産カルロス・ゴーン事件の真相は? カリスマ経営者はなぜ「強欲な独裁者」と化し、日産と日本の司法を食い物にしたのか? 世界中が驚愕した前代未聞のスキヤンドルの全貌が見える。

是非とも一読をお薦めします。



6月のお誕生日

辻 直治さん 6月6日